

<学年末・学年始めに> “子どもの姿”で見届けよう「指導改善」の成果と課題

令和2年7月に「子どもの目線に立つ2020<第1弾>」、10月に「(同)<第2弾>」を発行し、具体的な指導改善の方途を示すとともに、その内容に関連する児童生徒用ワークシートを作成・配布しました。

学年末や学年始めに、児童生徒が再度ワークシートを活用し、「何が分かるようになったのか」「何ができるようになったのか」を確かめ、新しい学年への目標や課題をもつことができるようにしたいものです。下記のワークシートは、県のホームページ「ぎふっこ学び応援サイト」からダウンロードできます。一人一人の学力・学習状況に応じて、学校や家庭で有効に活用されることを願っています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/61512.html>

ぎふっこ学び応援サイト

児童生徒の学びを支援する学習教材やウェブサイト等を紹介します。
家庭学習等において、ぜひ、活用してください。



課題チャレンジコーナー

<ワークシート一覧>

【小学校】

小学校3・4・5・6年生、中学校1・2・3年生が、今までの学習を生かしてチャレンジする課題（ワークシート）を掲載しています。

教科	対象学年	ワークシート	指導改善の成果・課題をチェック (例：正答率 9割以上●人、8割以下●人)
国語	4・5・6	漢字の覚え方を工夫しよう①	
	5・6	漢字の覚え方を工夫しよう②	
	5・6	主語と述語の関係に注意して書こう	
	3・4・5・6	修飾語を使って書こう	
	5・6	語と語、文と文との関係に注意して書こう	
	5・6	目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して書こう	
	3・4・5・6	ローマ字	
算数	4	小数や分数のたし算のしかたについて考えよう	
	5	分数の意味をふりかえろう	
	5	小数や分数のたし算のしかたについて考えよう	
	5	図と図、図と式などを結び付けながら考えよう	
	6	代表値を正しく読み取ることができるようにしよう	

【中学校】

国語	1・2・3	漢字・語句の復習〔漢字・慣用句・単語など〕	
	1・2・3	自分の考えが読み手に伝わるように文章を書こう	
	1・2・3	相手、目的、意図に応じて考えを分かりやすく伝えよう	
	1・2・3	文章と図表などを結び付けながら内容を捉えよう	
	1・2・3	ローマ字	
数学	1	代表値を正しく読み取ることができるようにしよう	
	1	見通しをもって作図ができるようにしよう	
	1	統合的・発展的に考察し、より深く追究する力を身に付けよう	
	2	統合的・発展的に考察し、より深く追究する力を身に付けよう	
	2	変化の割合の意味や求め方を理解しよう	

<令和3年度のスタートに当たって>

カリキュラム・マネジメントの充実・強化

子どもの姿が出発点



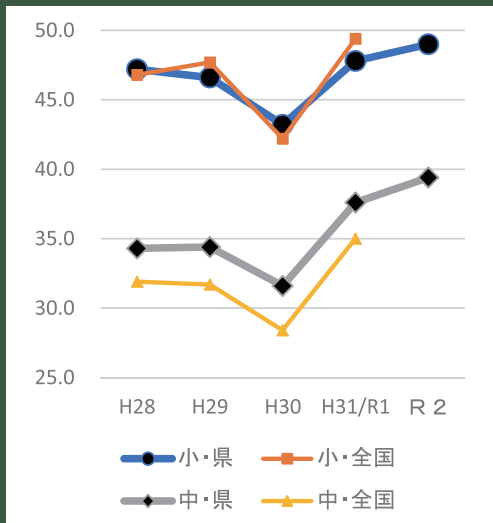
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、各学校においては、これまで当たり前のように行ってきた教育活動を見直し、限られた時間の中で、子どもたちの学びを最大限に保障しようとする営みが積み重ねられました。学校再開後「授業が分からないまま進んでいってしまうのではないかと不安をもつ方がいましたが、秋に実施した全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙調査」の県内の結果をみると、右記のように「授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒数の割合が昨年度より増加しており、児童生徒一人一人の学習状況を丁寧に見届けながら授業を進めている状況が明らかになっています。

一方で、近距離で対面形式となるグループ活動等、感染リスクの高い教育活動を一時停止せざるを得なかったことや、補充的・発展的な学習をゆとりをもって行う時間の確保が難しかったことから、学習内容の理解の広がりや深まりに課題があるのではないかと考えられます。

そこで、令和3年度を迎えるに当たって、学習指導上の課題（令和2年度に十分指導できなかった内容等）を確実に引き継ぐとともに、一人一人の学習状況を踏まえ、子どもたちが身に付けた力を主体的に活用していくことができる教科等横断的な視点に立ったカリキュラムを編成していくことが大切になります。

各学校において、本資料が有効に活用され、感染症対策をはじめ様々な課題を抱える中にあっても、誰一人取り残さない教育活動が展開され、全ての子どもたちに確かな学力が育成されることを願っています。

〔令和2年度全国学力・学習状況調査〕
(県内174小学校・73中学校からの結果提供)
算数(数学)の授業の内容はよく分かる：
「当てはまる」と回答した児童生徒の割合



令和3年3月

岐阜県教育委員会 学校支援課

カリキュラム・マネジメントの充実・強化

【これまで】

■例年の活動の改善

【令和2年度】

■活動内容の重点化
“限られた時間数で最大の効果をあげるために”

【令和3年度】

■育成を目指す資質・能力の明確化
～各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程を編成～

■「見方・考え方」を働かせ、資質・能力を育成する授業の充実
～個に応じたきめ細かな指導～

“目指す子どもの姿を共有し、全職員が創意工夫を加えて教育課程を編成・改善”

◇どのように教育内容を組み合わせたら、効果的・効率的に教育活動の質の向上（保持）を図れるか…

- 修学旅行等の学校行事の意義やねらいは？
- 実験や実習を通して身に付けさせたい能力は？
- 他教科や総合の時間等とどのように関連させるのか？

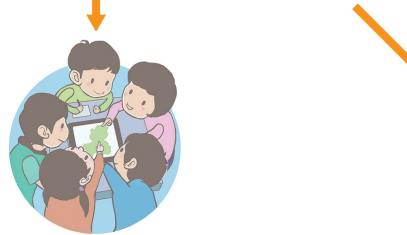
<カリキュラム・マネジメントの3側面>

- 児童（生徒）や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
 - 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
 - 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと
- （「小（中）学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編」より）

【教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成】

（1）学習の基盤となる資質・能力

- 言語能力
- 情報活用能力（情報モラルを含む）
- 問題発見・解決能力



（2）現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

- 健康・安全・食に関する力
- 主権者として求められる力
- 伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力
- 地域や社会における産業の役割を理解し、地域創生等に生かす力
- 自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力 等

※学習指導要領解説【総則編】巻末付録6参照

<授業改善のポイントを確認>

「使ってみよう！学力調査（調査問題活用の参考資料）」国立教育政策研究所 令和2年10月

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮して、全国一斉の学力調査は実施されませんでしたが、調査問題を活用して、日々の学習指導の改善・充実を図ることができるように上記の資料が配布されました。

【掲載内容（例）】小学校・算数 P.71～P.75

4 資料について様々な観点で考察すること

■授業アイデア例 第3学年対象

「目的に応じて、様々な観点で考察しよう」
～資料の特徴や傾向を読み取り、新たな棒グラフに表す～

>ポイント①

- 日常生活における問題を見だし、問題を解決するために必要な資料を集めることができるようにすることが大切である。

>ポイント②

- 目的に応じて、数量の大小に着目したり、差に着目したりして考察できるようにすることが大切である。

>ポイント③

- 示された棒グラフから読み取ったことを分かりやすく伝えるために、新たな棒グラフに表すことができるようにすることが大切である。

■他学年・他教科等における活用例

- 第5学年「私たちの国土」（折れ線グラフ）
- 第5学年「食料生産とわたしたちの暮らし」（帯グラフと円グラフ）

■家庭学習における活用例

- 第3学年「宣伝を見て」
- 第5学年「商品のポスターを見て」

実社会につながる教科等横断的な学習の推進

子どもたちが、実社会の様々な事象に興味・関心をもち、問題を見だし解決につなげていく「問題発見・解決能力」、様々な資料を読み取り自分の考えをまとめ伝える「言語能力」、タブレット端末等を適切に用いて情報を収集・整理・比較・発信する「情報活用能力」等の学習の基盤となる資質・能力や、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を図るために、「**活用力を育む問題（中学校）※「読解力」を育む問題（小学校）**」を作成しました。（「ぎふっこ学び応援サイト」に掲載）

これらの問題に取り組むことを通して、各学校における教科等横断的な視点に立った教育課程の編成が一層充実することを期待しています。

「活用力」を育む問題 ～「新聞記事」等を読み解き、実社会の課題に迫る～

宇宙への夢

科学

～「はやぶさ2」カプセルの放出に成功～



問3 「はやぶさ2」が向かっていた小惑星を「リュウグウ」という名前にした理由を、次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>・「はやぶさ2」の目的と浦島太郎の話を取り上げて書くこと。
・100字以上150字以内で書くこと。

問7 「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」の「宇宙エリア」にはどのようなものが展示されているのかを、インターネットを活用して調べ、絵図や文でまとめましょう。

レジ袋の有料化と環境問題

環境

問1 太郎さんは、「新聞記事」からレジ袋の有料化について、次のようにまとめました。太郎さんのまとめの□に当てはまる言葉や文を書きましょう。



問2 タブレットPC等を活用して、岐阜県のホームページに掲載されているポスターや動画を見て、プラスチックごみが、環境にどのような影響を与えているのかを、絵図や文でまとめましょう。



岐阜県の特産品

郷土・食

～「飛騨牛」や「富有柿」等～



問4 みち子さんたちは、統計資料「グラフでみる かく ふるさと岐阜県」から、「飛騨牛」と「かき（富有柿）」、「あゆ」について調べました。次の問A～Eに答えましょう。

問6 岐阜県や住んでいる市町村の特産品を使った料理のレシピを考えましょう。

- レシピには、「材料」と「作り方」を必ず入れましょう。
- ホームページなどに掲載されているものを参考にし場合は、出典を明記しましょう。
- できあがった料理の写真や絵、食べた感想を入れるなど、工夫をしましょう。

地域の魅力発信

地域創生

～「岐阜関ヶ原古戦場記念館」と「美濃和紙あかりアート」等～

問3 和紙を使ったあかりの作品（ランプシェード）を見ている人の気持ちになって、右の空らんをうめて、俳句（5・7・5音）をつくりましょう。

問4 次のA・Bのいずれかを選択し、関係するホームページを参考に、地域の特色を調べ、それぞれの地域において、下記のようなキャッチフレーズを付けた理由を150字以内で書きましょう。

A：関ヶ原町「東西文化が出会うまち」
B：美濃市「1,300年の昔から今、未来へ伝える山里文化」

災害から命を守る

防災

問2 岐阜県のホームページに掲載されている「災害資料」をもとに、下記のQ & Aの□に当てはまる言葉や数字、文を書きましょう。

問4 県のホームページの「防災お役立ち情報」の中から、家族に伝えたい情報を3つ選び、選んだ理由を書きましょう。



【新聞記事等を活用し「読解力」を育む】

「読解力」は、グローバルな情報化社会を生きる子どもたちにとって不可欠な力といえます。

そこで、中学生を対象に作成した上記の問題を基に、小学生も活用できるよう「新聞記事をやさしくしたもの」を添付した「読解力を育む問題」を作成しました。

今年度より新たに始まった「大学入学共通テスト」においても、感染症やタピオカ等実社会の話題を取り上げ、複数の文章を読み解いていくなど、「読解力」を問う問題が多くありました。